

寿湯だより4月号



発行日 令和7年 4月 1日

NO. 223

作成者 リョーゾー

住所 東京都台東区東上野5-4-17
銀座線稲荷町駅徒歩2分 JR 線上野駅徒歩7分
電話 03-3844-8886
“NEW” HP アドレス kotobukiyu.jp

料金 大人550円 小学生200円 幼児100円
サウナ プラス350円 タオルセット100円
リンスインシャンプー・ボディソープ無料
営業時間 11:00~深夜1:30 (最終受付1:05)
定休日 第三木曜日 (祝日の場合前日水曜)、1月元日・2日

《牛乳風呂》

《ミイトルビンバス》



※4月5日(土)・6日(日)※

露天風呂 5日(土)「フルーツ牛乳風呂」

6日(日)「イチゴ牛乳風呂」

“新たな門出を迎える皆様 おめでとうございます”

両日はお祝い記念の、フルーツ牛乳・イチゴ牛乳を
40円引きの120円で販売いたします。

※4月13日(日)、20日(日)※

露天風呂 「ミイトルビンバス MitoRubin」

学習院大学 and 日本女子大学

“若返りの鍵”として近年注目されるミトコンドリアを活性化
する新成分「ミイトルビン」を配合バス。リラックス効果のある
ジャスミンの香りとともに、ミトコンドリア活性化成分「ミイト
ルビン」を肌で感じる非日常体験を提供いたします。入浴と
いう身近な習慣を通じて、健康維持におけるミトコンドリアの
大切さを啓発し、新しいセルフケア習慣を提案いたします。

※店主からのひとこと※

『岡本太郎』

「日本人に今も欠けているものがあるとすれば、ベラ
ボウさだ。チャッカリや勤勉はもう十分なのだから、こ
こらで底抜けなおおらかさ、失敗したって面白いじゃな
いかというくらい、スットン狂にぬけぬけした魅力を発
揮してみたい。日本人の精神にも、そういうベラボウな
ひろがりがあるのだということをまず自分に発見する、
今度の大阪万博が新しい日本人像をひらくチャンスに
なれば嬉しい」と話したのは1970年アジアで初めて開
催された大阪万博のシンボル「太陽の塔」プロデュース
した岡本太郎氏。そんな岡本が生み出した太陽の塔は、
万博のテーマ「人類の進歩と調和」を表現するテーマ

4月 薬湯の予定

1	火	紫根	16	水	生葉・緑茶
2	水	薬健湯	17	木	定休日
3	木	ブルーベリー	18	金	薬健湯
4	金	檜の香り	19	土	檜の香り
5	土	桜爛漫	20	日	健美泉
6	日	生・米ぬか風呂	21	月	いちご狩り
7	月	禄寿湯	22	火	禄寿湯
8	火	ひまわり畑	23	水	ユッカ濁り湯
9	水	マグマ温泉	24	木	ひまわり畑
10	木	健美泉	25	金	実宝湯
11	金	ふくじゅこう	26	土	ブルーベリー
12	土	米ぬかオリーブ	27	日	生葉・緑茶
13	日	実宝湯	28	月	米ぬかオリーブ
14	月	ユッカ濁り湯	29	火	ふくじゅこう
15	火	ブルーベリー	30	水	マグマ温泉

*実宝湯、健美泉、生・米ぬか、緑茶を除き入浴剤を使用します。

★イベント・お風呂の日、露天風呂★

26(土) 名湯紀行 「硫黄の湯」

27(日) 健酵入浴液 「万田酵素」

29(火) 限定入浴剤 「ビーチルの湯」

館として建てられました。いったい何を表しているのか分
からない。異様な風貌(ふうぼう)は、西洋や日本の芸術の伝統
や基準から外れ、人々の脳裏に刻まれた。そんな岡本が1930
年、19歳の時東京藝大を休学しパリでの活動を開始するが日本
で学んだ基礎は全く通用せず誰にも認めてもらえなかった。焦
りと孤独の毎日「何のために絵を描くのか」という疑問。その
答えを得るため一度絵から離れ民族学を学んだこともあった。
1932年、芸術への迷いが続き2年が過ぎたある日たまたま立ち
寄った小さな画廊で人生を変える一枚の絵に出会った。パブ
ロ・ピカソの作品「水差しと果物鉢」を見て既存の価値観にと
らわれないその表現方法と世界観に立ち向かうピカソの孤独
な精神に体が震え、涙が止まらず「いつか、ピカソを超える」
と誓った。この時の感動が芸術家としての第一歩となった。「芸
術は爆発だ」岡本太郎氏の人生観を反映した名言ですね!

5月5日 こどもの日は【しょうぶ湯】

♡2種類の「SAUNAZOMBIES」ロングTシャツ」好評販売中